

出火場所はどこ？



自動火災報知器
で、出火場所を
確認！

初期消火が大切!!



消火器の設
置場所はい
つも確認！

ピンを抜いて



ホースの先をもっ
て、しっかり火点
に向ける。

火点に向ける

初期消火がで
きなかつたら、すぐに避
難誘導を



避難誘導は非常出口へ

消防訓練を 実施しました



《いざという時に備えて ご利用者様の安全を守る意識新たに》

在宅サポートセンター生田の避難訓練と消火訓練がこのほど、当センターのグループホーム響で行われました。訓練には、グループホームとデイサービスのスタッフ6名が参加。川崎市多摩消防署からも署員2名が指導に訪れました。

当センターでは、自動火災報知機が設置されており、火災を検知した段階で、自動的に消防署に連絡が行く仕組みとなっています。訓練では、「夜間、グループホームの洗濯室から漏電により出火」を想定。1名が消防署からの確認の電話に対して、センターの住所や状況を伝え、もう1名が出火場所を特定し、初期消火をする段取りでさっそく訓練開始。署員の指導のもと、電話対応の内容や避難誘導の場所の確認をはじめ、移動の際は車いすを使うなど具体的な方法を確認することができました。

避難訓練のあとは、屋外の駐車場で水消火器を使った消火訓練も実施。参加したスタッフたちは、昨年、多くの犠牲者を出した北海道のグループホーム火災が記憶に新しいこともあり、消火器の使い方など真剣な表情で学んでいました。

デ イサービス響

ハーモニカの
懐かしい音色に拍手



デイサービス響で送迎ドライバーをされていた山本靖忠さんが、ハーモニカボランティアとして懐かしい音色を披露してくれました。趣味で始めたハーモニカの腕前は相当のもの。ビブラートを利かせながら、瀬戸の花嫁やふるさとなど、ご利用者様の歌声に合わせて情感たっぷりに演奏してくれました。

●東日本大震災のお見舞い、ありがとうございました。

3月11日に発生した東日本大震災では、ご家族様や地域のみなさま方からご心配をいただきありがとうございます。デイサービスのご利用者様、グループホームの入居者様とも全員、特にケガもなく無事に過ごすことができました。お見舞いをいただいたみなさまには、紙面をもって御礼申し上げます。また、3月13日に開催を予定しておりました常岡治恵さんの「いきいき健康講座」につきましては、余震が続いている状況を踏まえ中止とさせていただきます。受講申し込みをされていたみなさま方には、大変ご迷惑をおかけいたしました。心からお詫び申し上げます。